

アイハウス国際理解セミナー 世界遺産シンポジウム

文化遺産との共生



破壊された女神像(左)と発掘された274体の鹿仏(右)カンボジア・アンコール遺跡 撮影/大村次郷

平成
18年 **6月9日**(金) 18:00 - 20:30

会場：大阪国際交流センター(小ホール)

定員：200名 参加無料

主催 = (財)大阪国際交流センター / (財)千里文化財団

協力 = 朝日新聞社

協賛 = 講談社 / (株)西遊旅行 / 中央公論新社

/ 日本放送出版協会

同時開催

写真展「破壊された祈りの場—世界遺産」6/5(月) - 6/14(水)

会場：大阪国際交流センター(アトリウム)

世界遺産には盗難や自然災害、武力紛争などにさらされ、危機的状況におかれているものが少なくない。アジア・オリエントを中心に遺跡を撮り続けてきたフォト・ジャーナリスト大村次郷氏が、破壊されたアンコールワットの女神像や塩害のモヘンジョダロ、昨年末に取材した大気汚染に悩むカトマンズなど、世界各地の衝撃的な遺産の現状をカラー写真で報告する。